

健 保 だ よ り

2021
AUTUMN

秋



もくじ

- 1・2 令和2年度決算決まる
- 3 初診からオンラインでの診察ができるようになりました
- 4 生活習慣病とお金の話 糖尿病

令和2年度

収入・支出決算決まる

令和2年度の収入・支出決算が決定いたしましたので、
その概要をお知らせします。

決算のポイント

1 経常収支が3年ぶりの赤字

決算収入総額は879,644千円、支出総額は756,705千円で差し引き122,939千円の収入増となりました。しかしながら、経常収支は44,755千円の赤字となり、3年ぶりの赤字決算となりました。

2

収入では、保険料収入は前年比960千円減収の694,392千円となり、収入総額では、161,838千円増加の879,644千円となりました。

また支出では、保険給付費が前年比16,543千円の減少、高齢者医療制度等に係る納付金が239,157千円の増加となり、支出総額では226,139千円増加の756,705千円となりました。

決算基礎数値

被保険者数	平均標準報酬月額	被扶養者数	保険料率(調整保険料率含む)
男……………960人	男……………351,967円	1,039人	事業主……………60.841/1,000
女……………299人	女……………226,917円		被保険者……………50.909/1,000
計……………1,259人	計……………322,597円		計……………111.750/1,000

収入

(単位:千円)

科目	令和2年度 決算(A)	令和元年度 決算(B)	実績対比 (A)-(B)
健康保険収入	694,392	695,352	△960
調整保険料収入	8,194	6,182	2,012
繰越金	120,000	0	120,000
別途積立金繰入	0	0	0
国庫補助金収入	41,097	561	40,536
財政調整事業交付金	6,301	2,773	3,528
雑収入	9,660	12,938	△3,278
その他	0	0	0
介護勘定受入	0	0	0
収入合計	879,644	717,806	161,838
経常収入合計	703,769	708,851	△5,082

支出

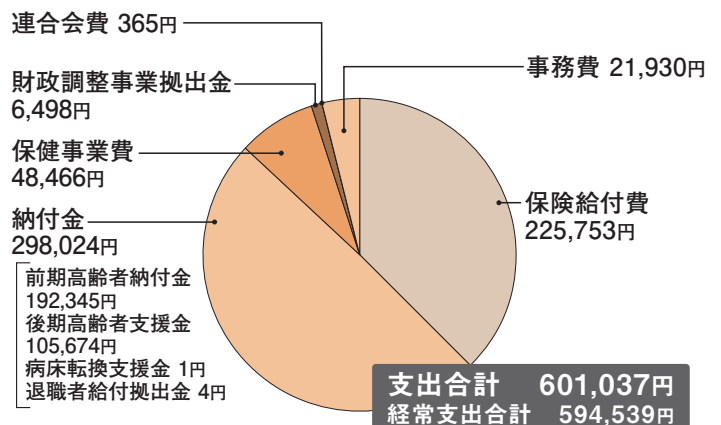
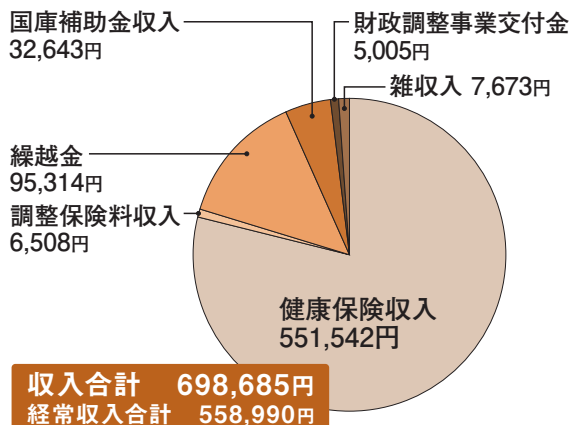
(単位:千円)

科目	令和2年度 決算(A)	令和元年度 決算(B)	実績対比 (A)-(B)
事務費	27,610	27,963	△353
事務所費	27,610	27,945	△335
組合会費	0	18	△18
保険給付費	284,223	300,766	△16,543
法定給付費	282,619	298,378	△15,759
付加給付費	1,604	2,388	△784
納付金	375,212	136,055	239,157
前期高齢者納付金	242,162	10	242,152
後期高齢者支援金	133,044	136,030	△2,986
病床転換支援金	1	1	0
日雇拋出金	0	0	0
退職者給付拋出金	5	14	△9
保健事業費	61,019	59,125	1,894
還付金	0	0	0
財政調整事業拋出金	8,181	6,159	2,022
連合会費	460	498	△38
雑支出	0	0	0
その他	0	0	0
支出合計	756,705	530,566	226,139
経常支出合計	748,524	524,407	224,117

令和2年度 決算経常収支差額

△44,755千円

1人当たりをグラフで見ると



決算基礎数値

介護保険第2号被保険者数	介護保険第2号被保険者たる被保険者数	特定被保険者数	平均標準報酬月額	保険料率
1,189人	876人	14人	357,924円	事業主…………… 9.255/1,000
				被保険者…………… 7.745/1,000
				計…………… 17.000/1,000

収入

(単位：千円)

科目	令和2年度決算(A)	令和元年度決算(B)	実績対比(A)-(B)
介護保険収入	84,428	99,286	△14,858
繰越金	0	0	0
繰入金	0	0	0
国庫補助金受入	0	1,065	△1,065
雑収入	0	0	0
一般勘定受入	0	0	0
収入合計	84,428	100,351	△15,923

支出

(単位：千円)

科目	令和2年度決算(A)	令和元年度決算(B)	実績対比(A)-(B)
介護納付金	81,327	80,590	737
介護保険料還付金	0	0	0
積立金	0	0	0
一般勘定繰入	0	0	0
支出合計	81,327	80,590	737
残金(収入-支出)	3,101	19,761	△16,660

令和2年度の決算残金(収支差引額)は下記のように処分いたしました。

一般勘定 (単位：円)		介護勘定 (単位：円)	
準備金	0	準備金	201,479
別途積立金	2,924,875	翌年度繰越金	2,900,000
翌年度繰越金	120,000,000	合計	3,101,479
財政調整事業繰越金	13,951		
合計	122,938,826		

この結果、当組合の財産保有状況は下記のようになりました。

一般勘定 (単位：円)		介護勘定 (単位：円)	
準備金	338,629,104	準備金	45,442,190
別途積立金	529,890,929	合計	45,442,190
合計	868,520,033		

初診からオンラインでの診察ができるようになりました

これまで、電話やビデオ通話を用いて行うオンライン診療は「初診は原則として対面」とされていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い厚生労働省は、移し・移されるリスクの低減や、一次感染予防、二次感染予防にもつながるとして「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて」を発表。時限的・特例的な措置ではあるものの、初診からのオンライン診療ができるようになりました。

初診の定義としては、初めて医療機関を受診する患者だけでなく、来院歴があっても新たな症状などで受診(久しぶりに受診する患者なども含む)する患者も含まれています。

ただし、過去の診療記録がない患者の場合は、処方日数は7日を上限とすることや、麻薬や向精神薬取締法で規定されている向精神薬、抗がん剤など安全管理が必要な医薬品の処方ではできません。

また、オンラインでの服薬指導も容認され、患者は処方薬を薬局に行くことなく受け取れるようになり、より安心で便利になってきています。





生活習慣病

と

お金の話



糖尿病

初期であれば、生活習慣の見直しによって改善を望むことができる生活習慣病。しかし、進行すると医療機関での治療が必要となり、長期間に渡ることもあります。生活習慣病のひとつである「糖尿病」の治療にはどのくらいのお金がかかるのか、ご存知ですか？

生活習慣の乱れが引き起こす国民病

糖尿病は、血液中のブドウ糖の濃度（血糖値）が上昇する病気です。国民病とも呼ばれ、厚生労働省の2017年の「患者調査」によると、糖尿病の患者数は328万9,000人。前回（2014年）調査の316万6,000人から12万3,000人増えています。

糖尿病は進行するまで、痛みなどの自覚症状をほとんど伴いません。しかし、進行すると脳卒中や心筋梗塞、末梢動脈性疾患などのさまざまな合併症を引き起こします。中には視力を失ったり、足が壊疽（えそ）したりし、日常生活に支障をきたしかねない状態に陥る危険もあります。

合併症の有無が医療費を左右する

厚生労働省の「国民医療費の概況」によると、日本における医療費の総額43兆710億円のうち、糖尿病の医療費は1兆2,236億円となっています。

薬の種類や量・自己注射の種類や回数・通院する医療機関や通院回数・合併症の状況や程度などによって変わりますが、一人当たりの治療費は概ね右表のとおりです。

「そんなに大きな金額ではない」と思われたかもしれませんが、糖尿病はひとたび発症すると治癒するのが難しい病気です。長期的な毎月の出費と考えると、家計への影響は決して小さなものではありません。今一度、生活習慣を見直し、負担にならないように心がけたいものです。

●合併症が1つもない場合

年間医療費：約**25万円**

自己負担額(3割)：約**7万5千円**

月換算：約**2万円**

自己負担額(3割)：約**6千円**

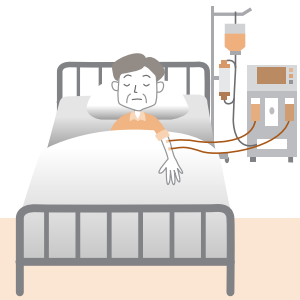
●合併症を4つ患っている場合

年間医療費：約**60万円**

自己負担額(3割)：約**18万円**

月換算：約**5万円**

自己負担額(3割)：約**1万5千円**



糖尿病を予防するには？

- 腹八分目。1日のエネルギー摂取量を気にした食事を心がける
- ベジタブルファースト。食物繊維が豊富な野菜を食べてからご飯を食べる
- 決まった時間帯に**1日3食**。間食を控え、空腹の時間帯をつくる
- 食生活の改善に加え、**適度な運動**を生活に取り入れる

出典：平成29年度(2017年)国民医療費の概況(厚生労働省)メディカルネットブック <https://m-netbook.mealtime.jp/>